

第11回医学用原子分子・原子核データ ワーキンググループ会合議事録

1. 日 時 昭和59年1月23日(月) 13:30~
2. 場 所 癌研病院会議室
3. 出席者 尾内能夫, 高橋 旦, 白貝彰宏, 平岡 武, 中井洋太,
高田信久, 沼宮内弼雄, 喜多尾憲助
(欠席者: 龍福廣, 伊藤 彬, 岩波 茂)

4. 配布資料

- (1) 第10回会合議事録(案)
- (2) 報告書目次案 — (1)の別添資料
- (3) 高エネルギーX線電子線の吸収線量測定における Absorbed dose Conversion Factor の見直しについて(白貝委員)
- (4) Shiragai, A: A Proposal Concerning the Absorbed dose Conversion Factor, Phys. Med. Biol. 23, 245 (1978).

5. 議 事

- (1) 前回(第10回)会合議事録の承認

前回議事録及び報告書目次案を沼宮内委員が提示。議事録に原案通り承認された。報告書, 目次については, 項目を入れかえたほか, 字句の修正が行なわれた。

- (2) 配布資料(3)~(5)により, 白貝委員が Absorbed Dose 換算係数の問題点と HPA による新勧告値の使用データについて説明があった。

- (3) 国外におけるデータ活動について

- (イ) 高橋委員宛井口氏からの手紙によると, Berger のレポートは文章部分を若干修正し, ICRU の手で印刷中。数値については変更なし
- (ロ) Hubbel から白貝委員に送られた手紙によると, 20 MeV 以上の光子に対する attenuation coefficient 及び absorption coefficient は, 補正